

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【公開番号】特開2006-293344(P2006-293344A)

【公開日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【年通号数】公開・登録公報2006-042

【出願番号】特願2006-75139(P2006-75139)

【国際特許分類】

G 09 G 3/30 (2006.01)

G 09 G 3/20 (2006.01)

H 01 L 51/50 (2006.01)

【F I】

G 09 G 3/30 J

G 09 G 3/20 6 2 4 B

G 09 G 3/20 6 4 1 A

G 09 G 3/30 K

H 05 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月18日(2009.2.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】半導体装置、表示装置および電子機器

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電極と、

ゲート、第1端子及び第2端子を備える第1のトランジスタと、

第1の配線と、

第2の配線と、

前記第1のトランジスタのゲートと前記第1の配線との電位差を保持する容量素子と、

前記第1のトランジスタのゲートと前記第1のトランジスタの第2端子を導通又は非導通にする第2のトランジスタと、を有し、

前記第1のトランジスタの第1端子は前記第2の配線に電気的に接続され、

前記第1のトランジスタの第2端子は前記電極と電気的に接続されていることを特徴とする半導体装置。

【請求項2】

電極と、

ゲート、第1端子及び第2端子を備える第1のトランジスタと、

第1の配線と、

第2の配線と、

容量素子と、

第2のトランジスタと、を有し、

前記第1のトランジスタの第1端子が前記第2の配線に電気的に接続され、

前記第1のトランジスタの第2端子が前記電極と電気的に接続され、

前記第1のトランジスタのゲートと前記第1のトランジスタの第2端子は前記第2のトランジスタを介して電気的に接続され、

前記第1のトランジスタのゲートは前記容量素子を介して前記第1の配線と電気的に接続されていることを特徴とする半導体装置。

**【請求項3】**

請求項1または2において、前記第1のトランジスタのW/L比は前記第2のトランジスタのW/L比に比べて大きいことを特徴とする半導体装置。

**【請求項4】**

請求項1乃至3のいずれか一項において、

前記第1のトランジスタ及び前記第2のトランジスタは、酸化物半導体を有していることを特徴とする半導体装置。

**【請求項5】**

請求項4において、前記酸化物半導体はa-InGaZnOを有していることを特徴とする半導体装置。

**【請求項6】**

請求項1乃至3のいずれか一項において、

前記第1のトランジスタ及び前記第2のトランジスタは、アモルファスシリコンを有していることを特徴とする半導体装置。

**【請求項7】**

発光素子と、

ゲート、第1端子及び第2端子を備える第1のトランジスタと、

第1の配線と、

第2の配線と、

前記第1のトランジスタのゲートと前記第1の配線との電位差を保持する容量素子と、前記第1のトランジスタのゲートと第2端子を導通又は非導通にする第2のトランジスタと、を有し、

前記第1のトランジスタの第1端子は前記第2の配線に電気的に接続され、

前記第1のトランジスタの第2端子は前記発光素子の電極と電気的に接続されていることを特徴とする表示装置。

**【請求項8】**

発光素子と、

ゲート、第1端子及び第2端子を備える第1のトランジスタと、

第1の配線と、

第2の配線と、

容量素子と、

第2のトランジスタと、を有し、

前記第1のトランジスタの第1端子は前記第2の配線に電気的に接続され、

前記第1のトランジスタの第2端子は前記発光素子の電極と電気的に接続され、

前記第1のトランジスタのゲートと前記第1のトランジスタの第2端子は前記第2のトランジスタを介して電気的に接続され、

前記第1のトランジスタのゲートは前記容量素子を介して前記第1の配線と電気的に接続されていることを特徴とする表示装置。

**【請求項9】**

請求項7または8において、前記発光素子は、三重項材料を有することを特徴とする表示装置。

**【請求項10】**

請求項7乃至9のいずれか一項において、前記第1のトランジスタのW/L比は前記第

2のトランジスタのW/L比に比べて大きいことを特徴とする表示装置。

【請求項 1 1】

請求項 7乃至10のいずれか一項に記載の表示装置を有することを特徴とする電子機器。  
。

【請求項 1 2】

請求項 7乃至10のいずれか一項に記載の表示装置と操作キーを有することを特徴とする電子機器。